●株主の皆様へ●

第53期報告書

2012年3月1日▶2013年2月28日

証券コード：9945

株式会社プレナス

Plenus

ごあいさつ

代表取締役社長　**塩井　辰男**

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当期（2013年２月期）におけるわが国経済は、欧州債務危機を背景とする海外景気の減速傾向が次第に強まり、厳しい状況が続きました。しかしながら、年明け以降、円安の進行や株価の回復等から一部に明るい兆しも見られました。

こうした事業環境の下、当社グループは、引き続き「ほっともっと」「やよい軒」「しゃぶしゃぶダイニングＭＫ」の３つの事業に経営資源を集中し、店舗の収益力の向上と新規出店の推進に取り組みました。その結果、2012年11月には、店舗数が国内・海外合わせて3,000店を超えることができました。また、国内の既存店売上高が３ブランド揃って前期実績を上回る等、堅調に推移し、増収増益を達成することができました。厳しい事業環境が続く外食業界にあって、順調な業績を収めることができたのは、ひとえに株主の皆様をはじめとするお客様にご支援いただいたことによるものと深く感謝申し上げます。

今後も引き続き、店舗の収益力の向上と新規出店の推進に注力すると共に、加盟店中心の店舗展開に向けた取り組みを進めてまいります。「はじめに消費者ありき」の創業精神のもと、お客様にご満足いただける商品の開発やサービスの向上に努め、当社グループがご提供する食のシーンを全国へ、そして世界へと広げていきたいと考えております。

なお、おかげさまで、「ほっともっと」は2013年5月にブランド創設から５周年を迎えました。

引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Q1 当期の業績を総括していただけますか？

既存店売上の伸長と新規出店の推進により、増収増益となりました。

当期における外食産業の動向につきましては、個人消費の回復が力強さを欠く中、企業間の競争激化や家計の負担増に対する先行き不安感等から、厳しい事業環境が続きました。そのような中にあって当社グループは、店舗の収益力の向上と新規出店の推進に取り組み、増収増益を確保することができました。

■ 連結業績ハイライト

（単位：百万円、%）

	2012年2月期		2013年2月期		前期対比	
	実績	構成比	実績	構成比	差額	増減率
売　上　高	127,068	100.0	141,589	100.0	14,520	11.4
営 業 利 益	6,274	4.9	6,474	4.6	199	3.2
経 常 利 益	6,696	5.3	7,153	5.1	457	6.8
当期純利益	1,960	1.5	2,906	2.1	946	48.3

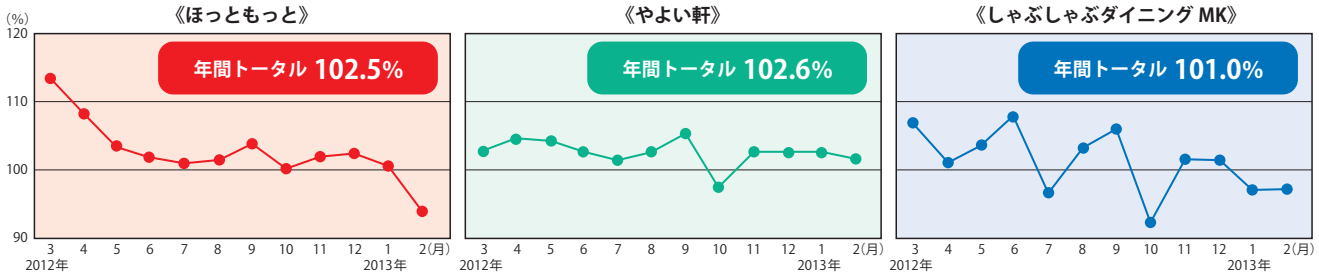
売上高は、既存店売上高が堅調に推移したことや新規出店により店舗数が増加したことが主な要因で、前期比 11.4%増の 1,415 億 89 百万円となりました。既存店売上高は、「ほっともっと」「やよい軒」「しゃぶしゃぶダイニング MK」全ての事業において前期実績を上回りました。（下記グラフ参照）

また、これらの事業を合わせて新規出店を 190 店舗、退店を 59 店舗行った結果、店舗数は前期末に比べ 131 店舗増の 2,913 店舗となりました。営業利益と経常利益は、仕入れコストの増加等がありましたが、売上高の伸長に伴い、それぞれ前期比 3.2%増の 64 億 74 百万円、前期比 6.8%増の 71 億 53 百万円となりました。当期純利益は、特別損失として訴訟損失引当金繰入額 13 億 39 百万円を計上したものの、前期の特殊要因（資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失 16 億 43 百万円）の反動等により、前期比 48.3%増の 29 億 6 百万円となっております。

■事業別の状況

	ほっともっと事業	やよい軒事業	しゃぶしゃぶダイニング MK 事業
売上高（百万円）	117,797	20,683	3,104
既存店売上前期比（%）	102.5	102.6	101.0
営業利益（百万円）	5,844	743	46
出店数	148	34	8
退店数	△ 55	△ 2	0
期末店舗数	2,659	222	32

■ 3ブランドの既存店売上高前期比推移



Q2 既存店売上高が堅調に推移した要因は何でしょうか？

商品・販売促進に関する諸施策が奏功したことや店舗の QSC の徹底を図ったことが、既存店の売上増加につながっております。

既存店売上高が堅調に推移したことは、商品力の強化、効果的な販売促進策の実施、店舗の QSC（品質・接客・清潔感）の徹底を図ってきた成果だと考えています。

商品・販売促進策については、「ほっともっと」では、さらに幅広い層のお客様にご利用いただけるよう定番商品の強化に努めています。「幕の内弁当」の白ご飯を炊き込みご飯に無料で変更するサービスや、女性やヘルシー志向のお客様のニーズに対応した「花・幕の内弁当」を発売した他、「塩から揚弁当」等の魅力を改めてお伝えする拡販キャンペーン等を展開しました。また、お客様の来店頻度を高める施策として、「のり弁当」を平日お昼に値下げするキャンペーンや夜限定メニューを発売する等、新たな取り組みも実施しています。「やよい軒」では、季節感や郷土性を取り入れたメニューをタイムリーに発売する等、他店との差別化を図りました。加えて携帯電話を利用して新メニューやキャンペーン情報をお届けするサービスを開始する等、お客様の来店促進を図りました。これらにより、「やよい軒」の客数・客単価は共に順調に増加しています。「しゃぶしゃぶダイニングMK」では、季節に合わせたメニューの発売やテレビ CM の放映等により、お客様の来店促進と新規顧客の獲得を図りました。

さらに、お客様の満足度をより高めることができるよう、ワークスケジュール表※の活用や社内研修等に継続して注力することで、店舗の QSC の徹底を図りました。

※売上計画に応じて店舗業務に必要な時間を決め、作業を従業員に割り当てるツール。

Q3 主力の「ほっともっと事業」における今後の事業展開の方針と取り組みについて教えてください。

より地域に密着した店舗づくりを目指して、加盟店中心の店舗展開への転換を図ってまいります。

5 年前の「ほっともっと」創設以降、早期にシェアを拡大することを最も重要な戦略と位置付け、積極的な新規出店を行ってきました。しかし、当初はブランドの認知度がまだ低く、新店の月商も低い状況にあったことから、直営店を中心に出店を進めてきました。現在では、店舗数も増えてブランドの認知度も向上し、各種施策の効果もあって、店舗の月商は順調に伸びてきています。

そこで、加盟店を中心とする本来のフランチャイズビジネスを強化するという経営判断をいたしました。地元で生活されている加盟店オーナーの方に店舗を経営していただくことで、

より地域に密着したきめ細かなサービスの提供が可能となり、お客様満足の向上、ひいては売上高の増加につながると考えています。

具体的な施策として、より多くの方に「ほっともっと」のオーナーとなっていただけるよう、新たに「ユニットFC制度」を設立しました。この制度の特長は、オーナーの開業資金の負担を軽減したこと、開業後の店舗経営におけるサポート体制を充実させたこと等です。また、さらに機能的で居心地のよい空間を重視した、新しいデザインの最新型店舗を開発しました。今後は、これらを活用してオーナーの事業意欲を高め、新規オーナーの獲得と既存オーナーの多店舗化を促進し、加盟店を増やしていく考えです。

■「ほっともっと」最新型モデル店舗

Q4 グループ全体の中長期的な事業展開について教えてください。

引き続き店舗の収益力の向上を図りつつ、積極的な出店を続けてまいります。

引き続き「ほっともっと」「やよい軒」「しゃぶしゃぶダイニングMK」の事業に経営資源を集中し、店舗の収益力の向上と新規出店の推進に取り組んでまいります。

店舗の収益力の向上については、店舗のQSC向上と商品力の強化、効果的な販売促進策の実施が今後もその柱となります。また、新規出店の推進により店舗網を拡大し、経営基盤をさらに充実していきます。「ほっともっと」では、加盟店中心の事業に転換しつつ出店を進め、国内で3,000店舗体制の早期実現を目指してまいります。「やよい軒」「しゃぶしゃぶダイニングMK」では、未進出のエリアも含め積極的に出店に取り組み、国内で「やよい軒」は300店舗、「しゃぶしゃぶダイニングMK」は50店舗体制を早期に実現してまいります。

また、海外においては、「ほっともっと」を中国及び韓国で、「やよい軒」をタイ及びシンガポールで出店しており、引き続き事業展開に注力していきます。特に「やよい軒」は、2013年4月末現在海外で100店舗に到達し、順調に成長しています。これを受けて、新たにオーストラリアでの展開に着手しました。本年中の1号店出店を目指し、準備を進めていきます。

当社グループは、今後もさらなる成長を図ってまいります。引き続き、株主の皆様のご支援をお願い申し上げます。

トピックス

HottoMotto ほっともっと

2012年

商品・キャンペーン
トピックス

3月
- 『幕の内弁当』炊き込みご飯無料変更サービス

4月
- 『花・幕の内弁当』新発売
- 『とろろ汁ととり天の定食』新発売

5月
- 『塩から揚弁当』拡販キャンペーン
- 『回鍋肉定食』・『黒酢酢豚定食』新発売

6月
- 『焼肉ビビンバ』新発売
- 『冷汁ととり天南蛮の定食』新発売

7月
- 『新・ビーフステーキ弁当』等 “一緒に、食べよ。”キャンペーン
- 『ひつまぶし定食』新発売

8月
- 『新・デラックス弁当』新発売
- 『アジの開き定食』新発売

9月

10月

ごはん処 やよい軒 YAYOIKEN

『のり弁当 平日、昼割。』

「のり弁当」シリーズを、平日お昼の時間帯（10時～15時）限定で値下げするキャンペーン。

『カキフライ御膳』新発売

メインのカキフライに牛肉とごぼうの甘辛炒め、野菜煮物のそぼろあん等、様々なおかずがバランスよく入ったお弁当。

『さんまの塩焼と里芋煮の定食』新発売

脂がのった北海道産の新さんまと、ほんのり甘い味付けの里芋と牛肉の煮物の組み合わせ。

『とり天とだんご汁の定食』

大分の郷土料理「とり天」と「だんご汁」を組み合わせた定食を発売。

5月 「ほっともっと」ユニットFC制度設立

「ほっともっと事業」において、今後のフランチャイズ展開の推進を図るため、新制度を設立。

オーナーの開業資金の負担を軽減

開業から店舗運営まで充実のサポート体制

6月 韓国初出店

「ほっともっと」韓国1号店、アックジョン駅店がオープン。

7月 ほっともっとフィールド神戸で冠試合「ほっともっとDAY」を開催

プロ野球公式2試合を「ほっともっとDAY」として開催。

『海鮮天丼』新発売

エビ、ホタテと野菜の天ぷらを、お店で一つひとつ丁寧に揚げて、丼に仕立てたお弁当。

『スペシャルステーキ弁当』新発売

こだわりのビーフステーキをごはんにのせ、しょうが焼、エビフライ、から揚、メンチカツといった「ほっともっと」の人気のおかずを詰め込んだお弁当。

『三元豚のすきやき弁当』新発売

三元豚をおいしいすきやきに仕立てた、豆腐と野菜たっぷりのお弁当。

夜限定　三元豚の『厚切りとんかつ弁当』新発売

三元豚を贅沢に厚切りにし、店舗で衣を付け、100%植物性のキャノーラ油でじっくり揚げたとんかつを味わえるお弁当。

11月

『すき焼き定食』

『チゲ鍋定食』

12月

『鍋キャンペーン』

寒い冬にぴったりな鍋シリーズとして、「博多水炊き定食」等4種類をラインアップ。期間中いずれか5食を食べたら1食無料となるお得なキャンペーンを実施。

2013年 1月

『カットステーキ定食』新発売

肩ロース肉を食べ易い一口大にカット。食べ応えのあるビーフステーキをお値頃な価格でご提供。

2月

『ヒレかつとエビフライの定食』新発売

柔らかく良質な豚のヒレ肉をサックリ揚げたヒレカツと、エビフライを合わせたバラエティ感ある定食。

7月　「やよい軒」国内200店舗達成

国内22都府県で200店舗を達成。

10月　フライ油リサイクルシステム東日本エリアに拡大

東日本エリア初のバイオディーゼル燃料給油所「関東プレナスステーション」が埼玉県に完成。2012年10月4日より、関東エリアの店舗へ商材を配送するトラック20台を対象に『フライ油リサイクルシステム』を稼動しました。

Plenus eco Oil Recycle

全世界で3,000店舗

HotMotto	やよい軒	NK
2,667店	320店	32店

プレナスグループとして全世界で3,000店舗を達成。

※店舗数は2013年2月末現在

海外展開　海外100店舗達成、新たにオーストラリアへ進出

中国
China

6店

韓国
Korea

2店

タイ
Thailand

95店

日本
Japan

2,659店　222店　32店

シンガポール
Singapore

3店

全世界で

ほっともっと
2,667店

やよい軒
320店

しゃぶしゃぶ
ダイニングMK
32店

合計
3,019店

※店舗数はいずれも
2013年2月末現在

2013年新たに進出

オーストラリア
Australia

海外5か国目となるオーストラリアへ出店

2013年3月1日に、オーストラリアにおいて「やよい軒」ブランドによる店舗展開を図るため、当社100%出資子会社「PLENUS AusT PTY.LTD.」を設立。

年内1号店の出店に向け準備中

「ほっともっと」の加盟店オーナーを積極的に募集中

「ほっともっと事業」において、2012年5月に開始した「ユニットFC制度」は、新たに起業を志す方々から多くのお問合せをいただいております。当社では、インターネットでの募集広告をはじめ、新聞・専門誌への掲載、国内最大規模のフランチャイズ・ショーへの出展等を通じて、将来「ほっともっと」の店舗運営を担っていただけるオーナーを積極的に募集しております。

フランチャイズ・ショーに出展
3月6日より3日間、東京ビッグサイトにて、FCに関する国内最大規模の展示会「第29回フランチャイズ・ショー2013」に出展。

様々な媒体を利用して、加盟店オーナーを積極的に募集

WEBサイトで募集を展開
当社ホームページや独立開業サイトの他、バナー広告も展開

新聞全面広告に出稿
3月1日付の全国紙に全面広告を掲載

ソーシャルメディアをブランディングに活用

昨春より、「Facebook」を中心としたSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）で、「ほっともっと」のブランド価値を高める取り組みを行っております。お客様との双方向交流が可能なSNSを活用することにより、テレビCM等従来のマス広告では伝えきれなかった「ほっともっと」のこだわりや魅力を分かりやすく紹介しています。この取り組みを継続することで、「ほっともっと」への愛着度が高いファンづくりを進めていきます。皆様も是非一度ご覧ください。

「ほっともっと」のフェイスブック活用術

安全性
工場内の生産ラインや店内の調理シーンを公開

こだわり
おいしさのこだわりについて紹介

双方向交流
お客様

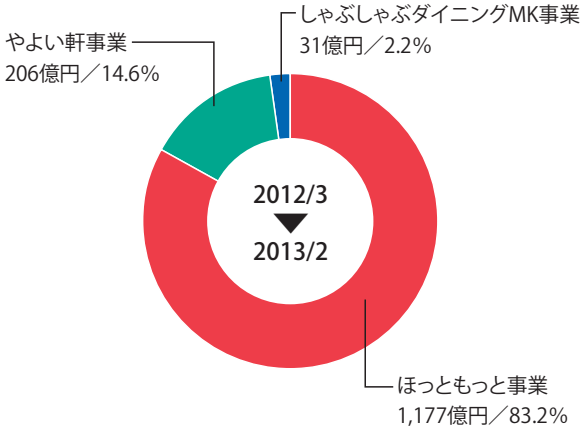
親近感
店長や店の周囲の景色を紹介

新商品
できたての商品写真を食事時に投稿

レシピ
ひと手間かけた美味しい食べ方を紹介

事業の概況と事業別の状況

事業別売上高構成比（連結）



ほっともっと事業

フランチャイズチェーンシステムにより、つくりたてのあたたかいお弁当を持ち帰り方式で販売する「ほっともっと」店舗を全国的に展開し、加盟店に対して食材・包装等資材及び事務機器（保守・修理含む）を販売すると共に、加盟店よりロイヤリティ、その他の収入を得ております。また、直営店にて持ち帰り弁当類の販売を行っております。

なお、店舗数は2,659店舗（2013年2月28日現在）となっております。

売上高

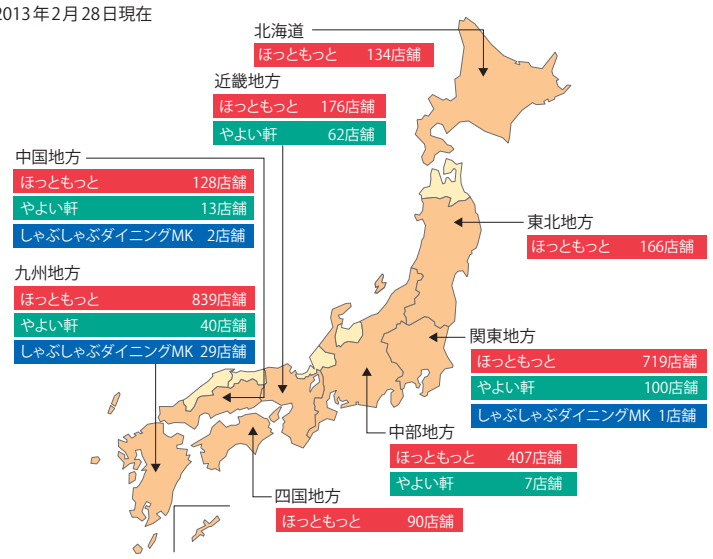
1,177億97百万円
（前期比 10.1%増）

営業利益

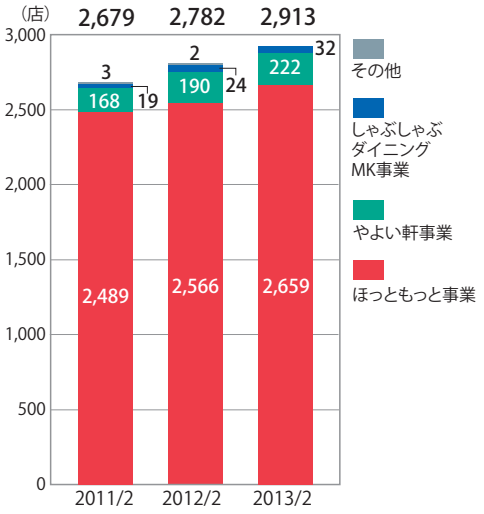
58億44百万円
（前期比 3.5%増）

当社グループの店舗展開エリア及び店舗数

2013年2月28日現在



事業別店舗数の推移（連結）



注）上記国内店舗のほか、海外店舗数は、2013年2月28日現在、「ほっともっと」8店舗（中国6・韓国2）、「やよい軒」98店舗（タイ95・シンガポール3）となっております。

やよい軒事業

定食類を店内飲食方式にてお客様に提供する「やよい軒」店舗を全国的に展開しております。直営店での販売のほか、加盟店に対して食材・包装等資材を販売すると共に、ロイヤリティ、その他の収入を得ております。

なお、店舗数は222店舗（2013年2月28日現在）となっております。

売上高

206億83百万円
（前期比 17.9%増）

営業利益

7億43百万円
（前期比 2.2%増）

しゃぶしゃぶダイニングMK事業

連結子会社（株）プレナス・エムケイがタイのレストランチェーンであるMK RESTAURANT CO., LTD. と提携し、しゃぶしゃぶをメインに、飲茶等をリーズナブルな価格で提供する「しゃぶしゃぶダイニングMK」を運営しております。

なお、店舗数は32店舗（2013年2月28日現在）となっております。

売上高

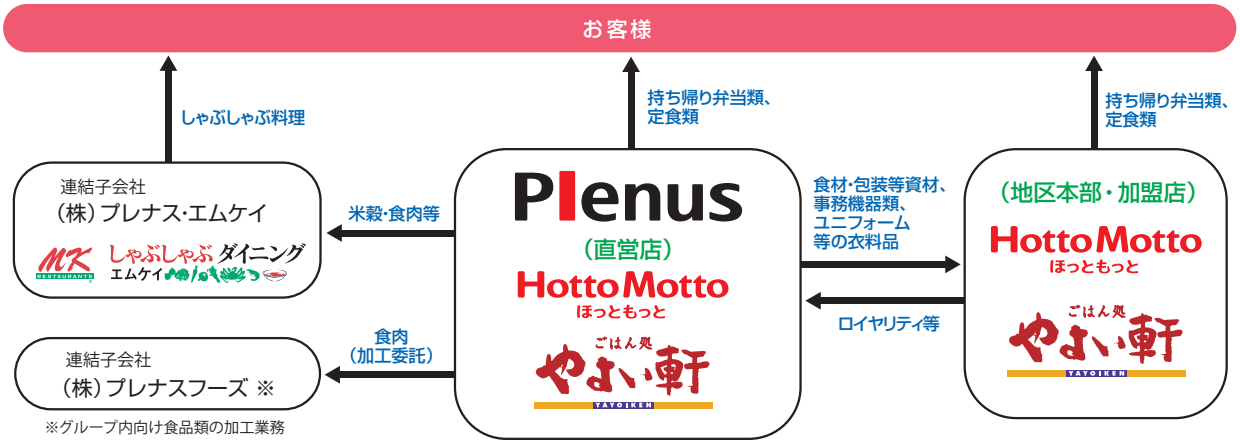
31億4百万円
（前期比 29.6%増）

営業利益

46百万円
（前期比 115.8%増）

企業集団等の状況

2013年5月23日現在

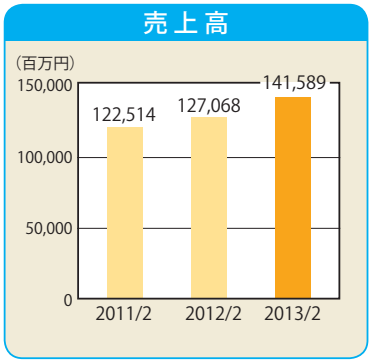


●上記以外のグループ会社　国内…（株）九州トーヨー／（株）フーディフレーバー
海外…北京好麦道餐飲管理有限公司／PLENUS & MK PTE.LTD. ／YK Food Service Co., Ltd. ／PLENUS AusT PTY. LTD.

損益の状況

厳しい事業環境の中、既存店売上高の堅調な推移と新規出店により、増収増益となりました。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	1,415億89百万円	64億74百万円	71億53百万円	29億6百万円
前期比	＋145億20百万円（＋11.4%）	＋1億99百万円（＋3.2%）	＋4億57百万円（＋6.8%）	＋9億46百万円（＋48.3%）



●事業環境

当期における外食産業の動向は、個人消費の回復が力強さを欠く中、企業間の競争激化や家計の負担増に対する先行き不安感等から、厳しい事業環境が続きました。

●売上高

既存店売上高が前期実績を上回ると共に、新規出店により店舗数が増加した結果、売上高は 1,415 億 89 百万円（前期比 11.4%増）となりました。

●営業利益・経常利益

仕入コストの増加等があったものの、売上高の伸長に伴い、営業利益は 64 億 74 百万円（前期比 3.2%増）、経常利益は 71 億 53 百万円（前期比 6.8%増）となりました。

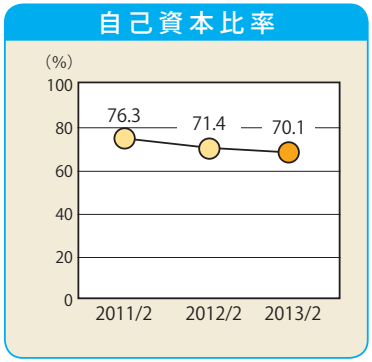
●当期純利益

特別損失として訴訟損失引当金繰入額 13 億 39 百万円を計上したものの、前期の特殊要因（資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失 16 億 43 百万円）の反動等により、当期純利益は 29 億 6 百万円（前期比 48.3%増）となりました。

財政状態

店舗数の増加など業容の拡大に伴って総資産が増加する中、健全な財務状態を確保しております。

	総資産	負債	純資産	自己資本比率
	814億29百万円	241億86百万円	572億42百万円	70.1%
前期末比	＋29億23百万円	＋18億66百万円	＋10億57百万円	△1.3ポイント



●総資産

流動資産が 16 億 8 百万円減少した一方で、固定資産が 45 億 31 百万円増加したことから、総資産は前期末に比べ 29 億 23 百万円増加し、814 億 29 百万円となりました。流動資産の減少は、現金及び預金が 14 億 53 百万円減少したこと等によります。固定資産の増加は、主に、有形固定資産が 22 億65百万円増加、(株)ほっかほっか亭総本部からの損害賠償請求訴訟に係る長期仮払金が 13 億 39 百万円増加したこと等によります。

●負債

流動負債が 2 億 47 百万円、固定負債が 16 億 18 百万円それぞれ増加したことから、負債は前期末比 18 億 66 百万円増加し、241億86百万円となりました。流動負債の増加は、未払費用が2億85百万円増加したこと等によります。固定負債の増加は、訴訟損失引当金が 13 億 39 百万円増加したこと等によります。なお、当社には借入金などの有利子負債はございません。

●純資産

利益剰余金が、当期純利益により29億6百万円増加する一方で、剰余金の配当により19億10百万円減少したこと等により、純資産は前期末に比べ 10 億 57 百万円増加し、572 億 42 百万円となりました。

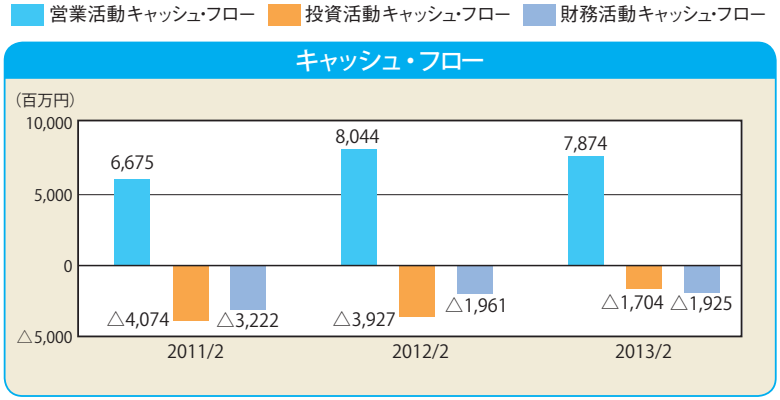
●自己資本比率

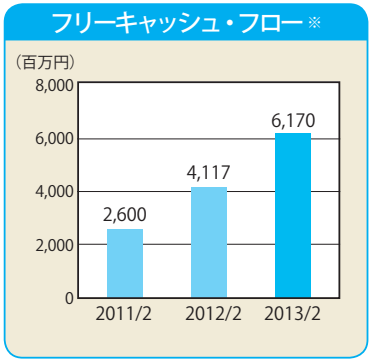
自己資本比率は前期末に比べ1.3ポイント低下しておりますが、依然として高い水準を保っております。

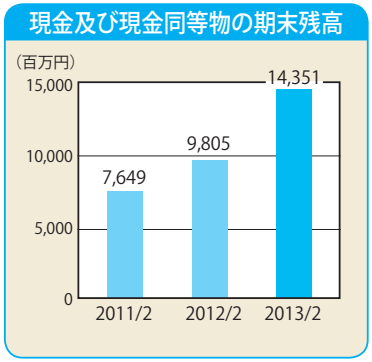
キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金により、積極的な投資が可能な資金状況となっております。

	営業キャッシュ・フロー	投資キャッシュ・フロー	財務キャッシュ・フロー
	78億74百万円の収入	17億4百万円の支出	19億25百万円の支出
前期比	△1億69百万円	+22億22百万円	+36百万円







※フリーキャッシュ・フロー＝営業活動キャッシュ・フロー＋投資活動キャッシュ・フロー

当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ45億46百万円増加し、143億51百万円となりました。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、78億74百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純利益52億74百万円、減価償却費45億75百万円、減損損失3億12百万円、売上債権の減少額3億8百万円、法人税等の支払額29億19百万円です。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、17億4百万円となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出90億円及び払戻による収入150億円、有形固定資産の取得による支出71億52百万円、差入保証金の差入による支出5億71百万円です。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、19億25百万円となりました。主な内訳は、配当金の支払いによる支出19億10百万円です。

●フリーキャッシュ・フロー

当期においては、営業活動の結果得られた資金が投資活動の結果使用した資金を上回り、61億70百万円となりました。

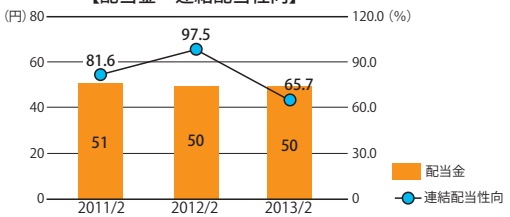
主な企業データ

配当金と連結配当性向

配当に関しては、年間配当 50 円以上の実施を基本とし、連結ベースでの年間配当性向 30%を基準に配当することにしております。

当期の配当金は、1株につき 50 円（中間 25 円・期末 25 円）とさせていただきました。

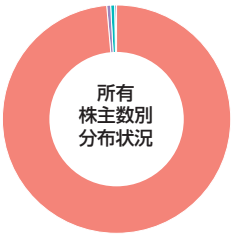
【配当金・連結配当性向】

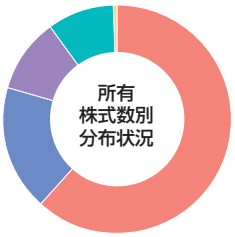


株式の状況（2013年2月28日現在）

発行可能株式総数 …… 92,568 千株
発行済株式の総数 …… 44,392 千株
株主総数 …… 39,081 名

株主数・株式数分布状況





	株主数（名）	構成比率（%）
個人・その他	38,580	98.7
その他国内法人	286	0.7
外国法人等	140	0.4
金融機関	43	0.1
証券会社	32	0.1

	株式数（千株）	構成比率（%）
個人・その他	27,500	61.9
金融機関	7,894	17.8
その他国内法人	4,608	10.4
外国法人等	4,180	9.4
証券会社	209	0.5

＊個人・その他には、自己名義株式 1 名、6,182 千株（13.9%）を含んでおります。

会社概要（2013年2月28日現在）

商　　号	株式会社プレナス （英文名 PLENUS Co., Ltd.）
創　　業	1960 年 3 月
設　　立	1976 年 11 月
資 本 金	3,461,130,361 円
本　　社	福岡市博多区上牟田一丁目 19 番 21 号
従業員数	1,444 名 上記従業員のほか、パートタイマーの期中平均雇用人員は 7,917 名（1日8時間換算）であります。

役　　員（2013年5月23日現在）

取締役会長（代表取締役）	塩井　末幸
取締役社長（代表取締役）	塩井　辰男
取締役副社長（代表取締役）	本川　嘉史
専務取締役	塩井　高明
取締役	鈴木　博
取締役	大楠　泰弘
取締役	田渕　豪
取締役	立花　英信
取締役	布山　稔
取締役	金子　史朗
常勤監査役	松永　宏昭
常勤監査役	高橋　勉
監査役	村田　純一
監査役	礒山　誠二
監査役	吉戒　孝

株主メモ

決算期	2月末日
定時株主総会	5月中
株主確定日	
定時株主総会	2月末日
期末配当	2月末日
中間配当	8月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。（当社ホームページに掲載。）但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
郵便物送付先及び電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 電話 0120-288-324

株式事務手続きについて

株式事務に関する各種手続き（住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求等）のお問合せ先は、次のとおりとなっております。

■証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先

お取引のある証券会社等へお問合せください。

■特別口座に記録された株式に関するお問合せ先

みずほ信託銀行株式会社（特別口座管理機関）へお問合せください。
みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
電話 0120-288-324

※未払い配当金について
未払い配当金につきましては、上記いずれの場合も当社株主名簿管理人のみずほ信託銀行株式会社へお問合せください。

株主優待制度について

(1) 対象となる株主様

毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象といたします。

(2) 優待の内容

毎年2月末日の対象株主様に、当社グループ店舗で使用可能な株主様限定の『株主お買物優待券』を贈呈いたします。（年1回）

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	500円『株主お買物優待券』（5枚）
1,000株以上	500円『株主お買物優待券』（10枚）

(3) 贈呈の時期

5月下旬にご送付いたします。

株主お買物優待券見本

当社の株主優待制度は、持ち帰り弁当チェーン「ほっともっと」をはじめ、定食チェーン「やよい軒」、及びレストランチェーン「しゃぶしゃぶダイニングMK」で『株主お買物優待券』をご利用いただける制度です。

当社グループ店舗をご利用いただき、当社グループの商品・サービスに対するご理解を深めていただければ幸いです。

お問合せ先

株式会社プレナス　経営管理室

〒812-8580　福岡市博多区上牟田一丁目19番21号　TEL.092-452-3678
ホームページアドレス　http://www.plenus.co.jp/